

御所南だより 3月特別号 特集 学校評価

令和 7年 3月 12日
京都市立御所南小学校
校 長 鈴木 登美代

御所南小学校では、学校評価の大切な指標として、保護者・児童・教職員アンケートを実施しています。今回は2月に実施しましたアンケート結果をお知らせします。保護者の皆様、お忙しい中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。

学校教育目標 未来に夢が広がる地域の学校

「感じる つながる 自分から」

「ありがとう」あふれる御所南の子ども ～ちがうってすてき ちがうっておもしろい～

児童 A＝そう思う B＝大体そう思う C＝あまりそう思わない D＝そう思わない 保護者 教職員 A＝出来ている B＝大体出来ている C＝あまり出来ていない D＝出来ていない

評価内容（児童）					評価内容（教職員）				
実現度（％）					実現度（％）				
A	B	C	D		A	B	C	D	
1	54.4	40.8	4.7	0.1	1	40.5	57.1	2.4	0.0
2	57.0	37.6	4.3	1.1	2	31.0	64.3	4.7	0.0
3	47.8	37.3	13.4	1.5	3	35.8	61.8	2.4	0.0
4	56.2	36.4	6.4	1.0	4	21.5	68.5	10.0	0.0
5	59.7	33.0	5.8	1.5	5	23.8	71.4	4.8	0.0
6	76.2	19.3	3.2	1.3	6	50.0	50.0	0.0	0.0
7	61.0	28.3	6.8	3.9	7	23.8	71.4	4.8	0.0
8	60.5	28.2	7.8	3.5	8	47.7	52.3	0.0	0.0
9	52.8	34.9	9.3	3.0	9	54.8	45.2	0.0	0.0
10	77.9	20.7	1.3	0.1	10	47.6	50.0	2.4	0.0
11	50.7	43.7	4.6	1.0	11	59.5	40.5	0.0	0.0
12	54.4	29.1	12.1	4.4	12	45.2	52.4	2.4	0.0
13	61.6	31.7	4.5	2.2	13	45.2	54.8	0.0	0.0
14	72.6	23.0	3.4	1.0	14	35.7	57.2	7.1	0.0
15	60.0	23.9	9.4	6.7	15	26.2	64.8	10.0	0.0
16	64.2	25.3	8.2	2.3	16	29.9	59.4	10.7	0.0
17	70.5	27.5	1.9	0.1	17	54.8	45.2	0.0	0.0
18	70.9	20.2	5.6	3.3	18	16.7	73.8	7.1	2.4
19	72.6	24.3	3.0	0.1	19	23.9	57.1	16.7	2.3
20	68.5	25.5	5.8	0.2	20	14.3	66.7	19.0	0.0
評価内容（保護者）					重要度（％）				
					実現度（％）				
					A	B	C	D	
1	88.2	11.7	0.1	0.0	16.1	55.6	25.4	2.9	
2	70.9	27.5	1.6	0.0	25.9	62.1	9.7	2.3	
3	81.0	18.9	0.1	0.0	30.2	61.4	7.4	1.0	
4	79.3	20.6	0.1	0.0	15.0	58.2	25.0	1.8	
5	82.0	17.9	0.1	0.0	14.1	55.5	28.0	2.4	
6	92.0	8.0	0.0	0.0	46.0	47.6	4.6	1.8	
7	81.0	17.8	1.1	0.1	29.4	59.0	10.0	1.6	
8	74.4	24.1	1.5	0.0	33.4	52.7	12.5	1.4	
9	84.6	15.3	0.1	0.0	29.7	39.9	25.6	4.8	
10	92.0	7.8	0.1	0.1	78.1	18.7	3.1	0.1	
11	87.3	11.7	1.0	0.0	37.3	38.6	22.2	1.9	
12	86.0	13.9	0.1	0.0	30.7	29.6	34.6	5.1	
13	96.0	4.0	0.0	0.0	48.1	48.7	3.1	0.1	
14	57.0	33.7	8.6	2.4	22.6	45.2	26.7	5.5	
15	42.7	39.4	16.0	1.9	27.1	49.2	21.4	2.3	
16	45.7	45.8	5.7	2.8	26.5	56.7	14.7	1.1	

本年度も学校教育目標から目指す子ども像を具体的にもち、教職員全員で常に意識しながら教育活動をすすめていきました。目指す子ども像は、「かがやき」かんがえぬく子・がんばりとおす子・やさしさあふれる子・きたえつつける子でした。

学校評価【後期】から「40分授業」「幼保小連携」「ハカセの時間」に関するアンケート項目を追加しました。どの項目に關しても概ね肯定的な結果でありました。教職員の意識も高く、来年度以降はこれらの内容を充実させていくために校内でも議論を重ねていきます。

【アンケート結果】

全体的に前期と比べて殆どの項目で大きな変化はありませんでした。児童はほぼ肯定的な結果であったとみています。児童アンケートで②「自分たちで学習を進めることができるか」の項目が、前期と比較して10%上がっています。これは、今年度から行っている40分授業の内容を「共有」「個別」「協働」と位置付けて実施したことで、子どもたちが見通しをもって学習に取り組むことにつながっているのではないかと思います。また「わくわくわあく」を実施してきたことで、自ら課題を見つけ、課題解決に向けて取り組む主体性が身につけてきているのだと感じています。

課題点としては、③「相手の意見を聞き、質問したり意見を述べたりすることができますか」の項目が前期に引き続き、「できていない」と回答した子どもの割合が1割を超えている点です。今後、教員研修等を通して、子どもたちによりよく力をつけていけるよう、目指す子ども像についての更なる共有をするとともに、授業改善を図っていきます。保護者の結果をみると「重要度」の項目すべてが大切だとお答えいただいています。実現度においても、おおむね肯定的な回答を得ています。特に⑥「教師が子どもの良さを認める」については、前期同様93%を超える結果でした。来年度も引き続き「褒める」ということを大切に、子どもたちの自尊心を高めていけるようにしていきます。生活面の評価項目では、前期との大きな変化はありませんが「あまりできていない」項目をみると⑨「早寝早起き」⑩「読書」の項目で、「あまりできていない」の割合が高くなっています。特に⑩「読書」についてはできていない割合が高くなっています。本校の子どもたちは読書が好きな子どもが多いので、「授業改善」「読書に関わる取組の充実と周知」などを中心に据えて来年度取り組むとともに、引き続き教職員の意識も高めていきます。⑪「スポーツ」におきましては、体づくりを意識した取組をしてきた結果、前期よりも「あまりできていない」が減少の傾向にあります。今後も取組の充実を図っていきます。学習面の項目⑪「めあてをもち自ら学習・・・」④「論理的に考え表現する」⑤「粘り強く解決」については他の実現度に比べて低い結果となっています。保護者が今子どもたちに足りない力だと感じておられる点がまさに、学校のめざす子ども像「かがやき」につながり学校教育目標の「自分から」という主体性に関する部分です。今後も家庭と学校で連携を図りながら、目指す子どもの姿を共有し、来年度の教育活動にしっかりとつなげていきたいと思います。

【学校運営協議会でのご意見】

・「ハカセの時間」や「わくわくわあく」を通して、子ども自身の好きなことが勉強につながっている。

・昨年度や今年度から始まった取組は、結果がすぐに出るものではない。大人になった時に必ずプラスになるので、このチャレンジを大切にしながら充実した取組にしていきたい。